



## SH-101 PLUG-OUT Software Synthesizer

取扱説明書

# はじめに

初めてご使用になるときは、セッティング (P.12) の MIDI Input/Output を設定してください。

お使いの DAW の設定については、DAW のヘルプや取扱説明書をお読みください。

本書では、SYSTEM-1 / SYSTEM-1m のことを「SYSTEM-1」と記載します。

## この製品について

- 製品の仕様や内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していないことがあります。あらかじめご了承ください。

## 商標について

- VST は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- Roland、PLUG-OUT、SCATTER は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。



# 画面の構成

## [PATCH] ボタン

パッチ・メモリーを選びます。  
Patch Select 画面が開きます。

P.5

## [SEND] ボタン

メモリーをSYSTEM-1 / SYSTEM-8 に転送します。

P.8

## [GET] ボタン

SYSTEM-1 / SYSTEM-8 の PLUG-OUT モードでエディット中のメモリー（テンポラリ）を、SH-101に取り込みます。

P.8

※SYSTEM-1 / SYSTEM-8 の MODEL が SH-101 のときのみ機能します。

## [PLUG-OUT] ボタン

SH-101 を SYSTEM-1 / SYSTEM-8 に組み込みます。

P.8

## レベル・メーター

アウトプット・レベルを表示します。

## [TUNE] つまみ

SH-101 全体のピッチを調節します。

## パッチ・メモリー名

選んでいるパッチ・メモリーの名前が表示されます。

## メイン・ウィンドウ

音作りに使う、さまざまなつまみやスライダーが表示されます。

P.4

## [KEYBOARD] ボタン

キーボード・エリアの表示／非表示を切り替えます。

## キーボード・エリア

クリックすると発音します。MIDI メッセージを受信すると、該当するキーが反応します。

## [OPTION] ボタン

スキンや、MIDI コントロール・マッピングを設定します。  
複数の SH-101 でそれぞれ設定できます。

P.12

## [SETTING] ボタン

MIDI の設定と、マウスのスクロール方向を変更します。  
複数起動した SH-101 で共通の設定です。

P.12

## [HELP] ボタン

ヘルプを表示します。

## [ABOUT] ボタン

SH-101 についての情報を表示します。



# メイン・ウィンドウ

## MODULATOR

ピッチを揺らしてビブラートをかけたり、フィルターを揺らしてワウをかけたりなど、音に周期的な変化（うねり）をつけます。

WAVE FORM	~ (正弦波) 〰 (三角波) 〰 (のこぎり波) 〰 (矩形波) 〰 (ランダム波) NOISE (ノイズ)
VCO	音のピッチを変化させます (ビブラート)。
VCF	VCF のカットオフ周波数を変化させます。
RATE	うねりの速さを決めます。

## VCO

音の高さやキャラクターを決めます。

FEET	オシレーターのオクターブを設定します。
MOD	矩形波のパルス幅を変化させる元を選びます。 A.ENV: VCA エンベロープ F.ENV: VCF エンベロープ LFO: モジュレーター MAN: 変化なし
PULSE WIDTH	MOD が A.ENV、F.ENV、LFO のとき、変化の深さを調節します。 MOD が MAN のとき、パルス幅を調節します。

## SOURCE MIXER

VCO、SUB OSC、NOISE の各音量を調節します。

□	矩形波
〰	のこぎり波
SUB OSC	1 または 2 オクターブ下
OSC TYPE	SUB OSC のタイプを設定します。 1 OCT DOWN □: 1 オクターブ下 2 OCT DOWN □: 2 オクターブ下 2 OCT DOWN □: 2 オクターブ下 (パルス幅小)
NOISE	ノイズ

## VCF

音の明るさや太さを決めます。また、フィルターの時間的な変化（エンベロープ）を作ります。

FREQ	ロー・パス・フィルターのカットオフ周波数を決めます。
RES	フィルターのカットオフ周波数付近を強調します。
ENV	エンベロープの変化する方向と量を決めます。
KEYBD	弾く鍵盤によってフィルターのカットオフ周波数を変化させます。
A D S R	エンベロープを設定します。

## VCA

音量の時間的な変化（エンベロープ）を作ります。

TONE	音の明るさを設定します。
ENV TRIG	エンベロープが立ち上がるきっかけを設定します。 GATE+TRIG: 鍵盤を押すごとに立ち上がります。 LFO: 鍵盤を押し続けると、モジュレーターの周期ごとに繰り返し立ち上がります。 GATE: 新たに鍵盤を押し直したときに立ち上がります。レガート奏法時は立ち上がりません。
VCA MODE	ENV: A D S R で設定したエンベロープに従って発音します。 GATE: 鍵盤を押している間だけ、一定音量で発音します。
A D S R	エンベロープを設定します。



## VOLUME

SH-101 全体の音量を調節します。

## PORTAMENTO

音階の変化をなめらかにします。

MODE	OFF: ポルタメントはかかりません。 AUTO: レガート奏法時のみ、ポルタメントがかかります。 ON: 常にポルタメントがかかります。
TIME	ピッチ変化にかかる時間を調節します。

## BEND RANGE

ピッチ・ベンド情報を受信したときの、ピッチ変化量を設定します。

## TEMPO SYNC

ホスト・アプリケーション (DAW) のテンポに同期して動作させるときは、押して点灯させます。  
同期テンポ範囲: 40 ~ 300

## EFFECTS

エフェクトを調節します。

CRUSHER	波形を歪ませて音色を変化させます。
REVERB	リバーブの深さを調節します。
DELAY	ディレイの音量を調節します。
TIME	ディレイ・タイムを調節します。

## ARPEGGIO

鍵盤で和音を押さえるだけで、アルペジオを演奏させることができます。

ARPEGGIO	点灯させると、アルペジオ演奏します。
ARP TYPE	アルペジオのパターンを選びます。
ARP STEP	アルペジオの速さを選びます。

# メモリーとバンク

## 1. [PATCH] ボタンをクリックします。

Patch Select 画面が表示されます。

### [NEW] ボタン

空の状態の新規バンクが作成されます。

### [DELETE] ボタン

選んだバンクを削除します。

### [LOAD] ボタン

バンクが読み込まれます。

### [SAVE] ボタン

バンクをファイルに書き出します。



### [SEND ALL] ボタン

バンクに登録されているメモリーをすべて (64 個) SYSTEM-1 / SYSTEM-8 に送信します。

### [GET ALL] ボタン

SYSTEM-1 / SYSTEM-8 に登録されているメモリーをすべて (64 個) 受信します。

### ご注意

64 個のメモリーを選択中のバンクで受信して、上書きします。バンクの状態を保持したいときは、新規バンクを作成し、作成したバンクで受信してください (P.6)。

### [WRITE] ボタン

エディットした音色を、メモリーとしてバンクに保存します。

### [RENAME] ボタン

選んだメモリーの名前を変更します。

### [READ] ボタン

バンクに登録してあるメモリーを読み込みます。

## バンク

64 個のメモリーをまとめたものを「バンク」と呼び、バンクを切り替えることで、数多くのメモリーを呼び出すことができます。バンクはファイルとして保存することができます。

### Bank

Memory 01  
Memory 02  
Memory 03  
⋮  
Memory 64

## バンクを切り替える

### 1. バンク欄をクリックします。

バンク・リストが表示されます。

### 2. 呼び出したいバンクをクリックします。

バンク欄右側にある [▲] [▼] ボタンを押すと、1 つ前、1 つ後ろのバンクに切り替えることができます。

## バンクを書き出す

バンクをファイルに書き出します。

### 1. [SAVE] ボタンをクリックします。

ファイル名入力画面が表示されます。

### 2. ファイル名を入力し、保存します。

ファイルが書き出されます。

## バンクを読み込む

### 1. [LOAD] ボタンをクリックします。

ファイル選択画面が表示されます。

### 2. ファイルを選択し、読み込みます。

バンクが読み込まれます。

## バンクを作成／削除する

### バンクの作成

[NEW] ボタンをクリックすると、空の状態の新規バンクが作成されます。

### バンクの削除

選んだバンクを削除します。

1. 「バンクを切り替える」(P.5) の手順で、バンクを選びます。
2. [DELETE] ボタンをクリックします。  
確認画面が表示されます。
3. [OK] をクリックして、削除します。

## バンク名を変更する

1. 「バンクを切り替える」(P.5) の手順で、バンクを選びます。
2. バンク欄左側にある ▶ をクリックします。
3. 名前を変更し、[Return (Enter)] キーを押します。

## メモリー

SH-101 では、64 個のメモリーを 1 バンクとして管理します。

### メモリーを読み込む

バンクに登録してあるメモリーを読み込みます。メモリーを読み込むと、エディット・エリアに設定が表示され、エディットできるようになります。

1. 読み込むメモリーの番号をクリックします。
2. [READ] ボタンをクリックします。または [Return (Enter)] キーを押します。  
メモリーが読み込まれます。  
※メモリー番号をダブルクリックして、メモリーを読み込むこともできます。

### メモリーを保存する

エディットした音色を、メモリーとしてバンクに保存します。

1. 保存するメモリーの番号をクリックします。
2. [WRITE] ボタンをクリックします。  
メモリーがバンクに保存されます。

### メモリー名を変更する

1. 名前を変更するメモリーの番号をクリックします。
2. [RENAME] ボタンをクリックします。
3. 名前を変更します (最大 16 文字)。

### メモリーの順番を変更する

メモリー番号をドラッグして、メモリーの順番を変更します。

## キーボード・ショートカット

Patch Select 画面で使用できる、キーボード・ショートカットです。

キー	機能
Command (Ctrl) + B	バンクの切り替え
Command (Ctrl) + I	バンクの読み込み
Command (Ctrl) + E	バンクの書き出し
Command (Ctrl) + N	新規メモリー作成
Command (Ctrl) + O	メモリーの読み込み
Command (Ctrl) + S	メモリーの保存
Up/Down/Left/Right	メモリーの選択
Space	メモリー名変更
Command (Ctrl) + C	メモリーのコピー
Command (Ctrl) + V	メモリーの貼り付け
Delete *1	メモリーの削除
delete ⌘ *2	
fn + delete *2	
Return (Enter)	メモリーの読み込み
Command (Ctrl) + Z	Undo (取り消し)
Command (Ctrl) + Shift + Z	Redo (やり直し)
Command (Ctrl) + U	すべてのメモリーを SYSTEM-1 / SYSTEM-8 に転送
Esc	ウィンドウを閉じる

\*1 Windows / \*2 Mac

# SYSTEM-1 で演奏する

SYSTEM-1 をパソコン (Mac / Windows) に接続すると、SH-101 と SYSTEM-1 を組み合わせて使うことができます。

## Windows

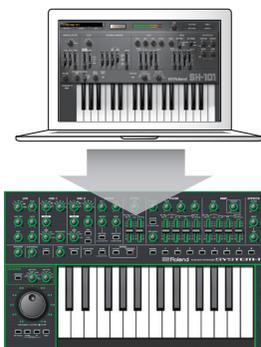
MIDI ポートとして表示される [SYSTEM-1 CTRL] は、SH-101 が使用するポートです。DAW からは使用しないでください。

## プラグアウト

### プラグアウトとは?

SH-101 をはじめとするソフトウェア・シンセサイザーを、SYSTEM-1 に組み込んで使用することができる技術です。

- パソコンを使わずに SYSTEM-1 単体で、SH-101 を演奏することができます。
- 選択中のバンクの情報を SYSTEM-1 に転送することができます。
- SYSTEM-1 のつまみやスライダーを使って、音色をエディットすることができます。



### プラグアウトの手順

#### 1. [PLUG-OUT] ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。

#### 2. [OK] ボタンをクリックします。

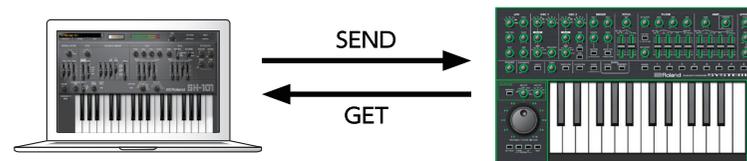
プログレス・バーが表示され、プラグアウト処理が始まります。およそ 1 分かかります。

※すでにほかのソフトウェア・シンセサイザーが SYSTEM-1 にプラグアウトされているときは、確認メッセージが表示されません。続けるには、[OK] をクリックします。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.12)
- SYSTEM-1 とパソコンが接続されていますか?

## メモリーのセンド/ゲット



#### 1. SYSTEM-1 をパソコンと接続します。

#### 2. SYSTEM-1 の MODEL [PLUG-OUT] ボタンをオンにします。

※メモリーをセンド/ゲットするには、あらかじめプラグアウト (P.8) しておく必要があります。

## メモリー・センド

SH-101 の現在のメモリーを、SYSTEM-1 に送信して、SYSTEM-1 で鳴らすことができます。音は SYSTEM-1 の OUTPUT 端子から出力されます。

#### 3. SH-101 の [SEND] ボタンをクリックします。

メモリーが送信されます。

## メモリー・ゲット

プラグアウトした SH-101 のメモリーを SYSTEM-1 でエディットしたとき、そのメモリーを SH-101 に取り込むことができます。

#### 3. SH-101 の [GET] ボタンをクリックします。

メモリーが取り込まれます。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

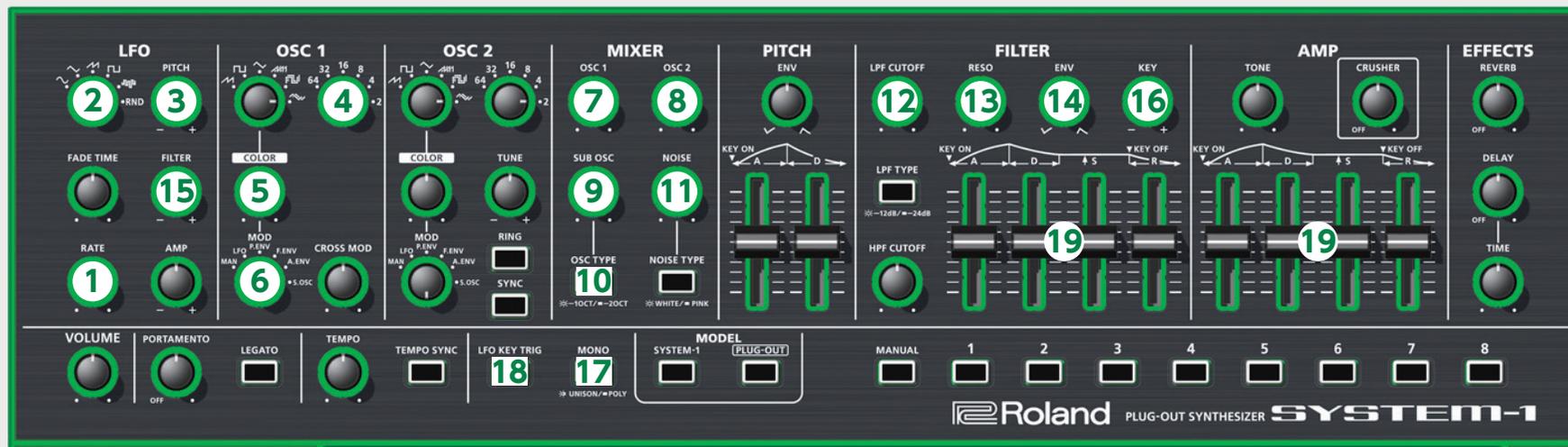
- MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.12)
- SYSTEM-1 とパソコンが接続されていますか?
- SYSTEM-1 の MODEL [PLUG-OUT] ボタンはオンになっていますか?
- SH-101 が SYSTEM-1 にプラグアウトされていますか? (P.8)

# SH-101 操作子マップ

SH-101 (オリジナル・ハードウェア)



SYSTEM-1 (ハードウェア)



操作子	点灯	消灯	点滅
10	1 OCT DOWN	2 OCT DOWN	2 OCT DOWN
17	ENV	GATE	-
18	LFO	GATE	GATE+TRIG

# SYSTEM-8 で演奏する

SYSTEM-8 をパソコン (Mac / Windows) に接続すると、SH-101 と SYSTEM-8 を組み合わせて使うことができます。

## Windows

MIDI ポートとして表示される「SYSTEM-8 CTRL」は、SH-101 が使用するポートです。DAW からは使用しないでください。

## プラグアウト

### プラグアウトとは？

SH-101 をはじめとするソフトウェア・シンセサイザーを、SYSTEM-8 に組み込んで使用することができる技術です。

- パソコンを使わずに SYSTEM-8 単体で、SH-101 を演奏することができます。
- 選択中のバンクの情報を SYSTEM-8 に転送することができます。
- SYSTEM-8 のつまみやスライダーを使って、音色をエディットすることができます。



### プラグアウトの手順

1. [PLUG-OUT] ボタンをクリックします。
2. SYSTEM-8 の MODEL ボタンに対応する、PLUG-OUT 先 (PLUG-OUT1 ~ PLUG-OUT3) を選びます。  
確認メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックします。

プログレス・バーが表示され、プラグアウト処理が始まります。  
およそ 1 分かかります。

※すでに SH-101 をいずれかの PLUG-OUT 先 (PLUG-OUT1 ~ PLUG-OUT3) にプラグアウトしているときは、新たにプラグアウトすることはできません。

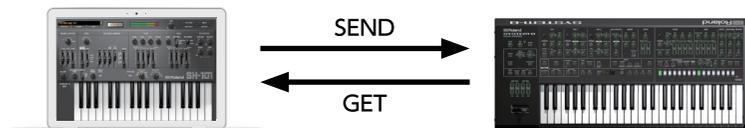
※すでにほかのソフトウェア・シンセサイザーが SYSTEM-8 にプラグアウトされているときは、確認メッセージが表示されます。続けるには、[OK] をクリックします。

エラー・メッセージが表示されるときは、次の項目を確認してください。

- MIDI ポートは正しく設定されていますか？ (P.12)
- SYSTEM-8 とパソコンが接続されていますか？

## メモリーのセンド/ゲット

SH-101 の現在のメモリーは、SH-101 をプラグアウトした SYSTEM-8 に送信して SYSTEM-8 で鳴らしたり (メモリー・センド)、SH-101 をプラグアウトした SYSTEM-8 でエディットしたメモリーを SH-101 に取り込んだり (メモリー・ゲット) することができます。



1. SYSTEM-8 をパソコンと接続します。
2. プラグアウト先の SYSTEM-8 の MODEL [PLUG-OUT1 ~ 3] ボタンをオンにします。  
※メモリーをセンド/ゲットするには、あらかじめプラグアウトしておく必要があります。

## メモリー・センド

3. SH-101 の [SEND] ボタンをクリックします。  
メモリーが送信されます。

## メモリー・ゲット

3. SH-101 の [GET] ボタンをクリックします。  
メモリーが取り込まれます。

エラー・メッセージが表示されるときは、次の項目を確認してください。

- MIDI ポートは正しく設定されていますか？ (P.12)
- SYSTEM-8 とパソコンが接続されていますか？
- SYSTEM-8 の MODEL [PLUG-OUT] ボタンはオンになっていますか？
- SH-101 が SYSTEM-8 にプラグアウトされていますか？ (P.8)

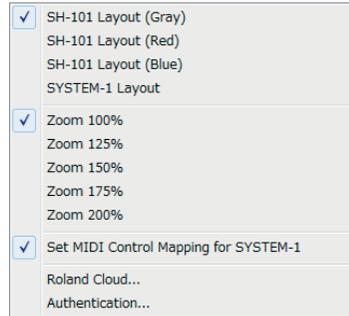
## SH-101 操作対応表

SH-101	SYSTEM-8
<b>MODULATOR</b>	
LFO/CLK RATE	LFO RATE
WAVE FORM	LFO WAVE
<b>VCO</b>	
MOD	LFO PITCH
RANGE	OSC 1 OCTAVE (FEET)
PULSE WIDTH	OSC 1 COLOR
PW MOD	OSC 1 MOD
<b>SOURCE MIXER</b>	
SQUARE	MIXER OSC 1
SAW	MIXER OSC 2
SUB OSC	MIXER OSC 3 SUB OSC
SUB OSC TYPE	OSC3 WAVE
NOISE	MIXER NOISE
<b>VCF</b>	
FREQ	FILTER CUTOFF
RES	FILTER RESO
ENV	FILTER ENV
MOD	LFO FILTER
KYBD	FILTER KEY
<b>VCA</b>	
TONE	AMP TONE
MODE	MONO
<b>ENV</b>	
TRIG	LFO KEY TRIG
A	FILTER A & AMP A
D	FILTER D & AMP D
S	FILTER S & AMP S
R	FILTER R & AMP R
<b>EFFECTS</b>	
CRUSHER	EFFECT DEPTH
REVERB	REVERB LEVEL
DELAY	DELAY LEVEL
DELAY TIME	DELAY TIME

# 設定

## オプション

1. [OPTION] ボタンをクリックします。



2. 項目を選びます。

選ばれている項目には、✓が表示されます。

パラメーター	説明
SH-101 Layout (Gray) SH-101 Layout (Red) SH-101 Layout (Blue) SYSTEM-1 Layout	メイン・ウィンドウの操作子の配置を変更します。 <b>SH-101 Layout:</b> SH-101 (オリジナル) 相当の配置にします。 色を変更することもできます。 <b>SYSTEM-1 Layout:</b> SYSTEM-1 と同じ配置にします。
Zoom	メイン・ウィンドウのサイズを変更します。
Set MIDI Control Mapping for SYSTEM-1	SYSTEM-1 を、SH-101 のコントロール・サーフェスとして使用するとき に、チェックを入れます。ボタンやスライダーの MIDI マッピング情報 をまとめて設定します。
Authentication...	SH-101 のユーザ認証をします。

## セッティング

1. [SETTING] ボタンをクリックします。

Setting 画面が開きます。



2. パラメーターを変更します。

パラメーター	説明
MIDI CTRL Input	<b>SYSTEM-1 をお使いのとき</b> [SYSTEM-1] (Mac OS) または [SYSTEM-1 CTRL] (Windows) を選びます。
MIDI CTRL Output	<b>SYSTEM-8 をお使いのとき</b> [SYSTEM-8 CTRL] を選びます。
Flip Scroll Direction (Mac のみ)	マウスのスクロール・ホイールで値を変更するときの、回転方向を反転 します。

3. [OK] ボタンをクリックします。

※ 変更は記憶されます。

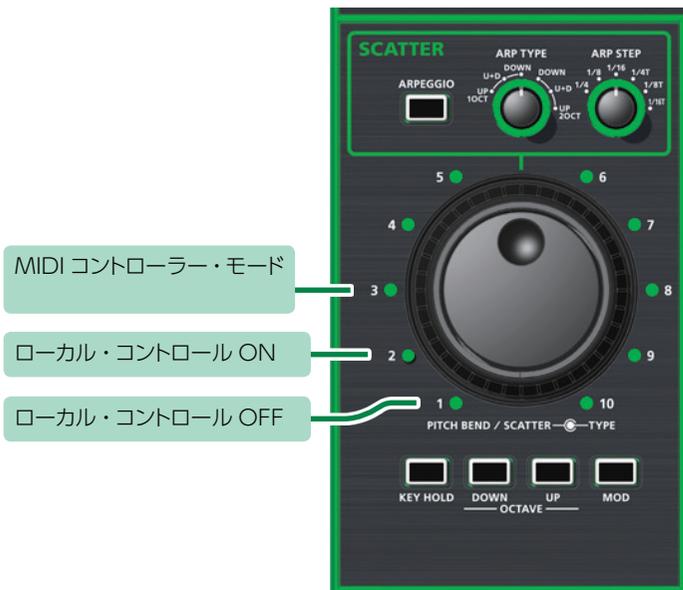
※ 複数の SH-101 を起動したとき、すべてに適用されます。

## SYSTEM-1 の設定

SH-101 (プラグイン) を SYSTEM-1 で鳴らすときは、SYSTEM-1 を MIDI コントローラー・モードにします。MIDI コントローラー・モードにすると、SYSTEM-1 内蔵の音源は鳴らなくなり、SH-101 だけが鳴らせるようになります。

※この設定は SYSTEM-1m にはありません。

1. SYSTEM-1 の電源を入れます。
2. MODEL [SYSTEM-1] ボタンと [PLUG-OUT] ボタンを押しながら、SCATTER [TYPE] ダイアルで、MIDI コントローラー・モードに設定します。



## SYSTEM-8 の設定

DAW 上の SH-101 (プラグイン) を SYSTEM-8 で鳴らすときは、SYSTEM-8 のメニューから [SYSTEM] → [SOUND] → [Local Sw] の設定を [SURFACE] にしてください。SYSTEM-8 内蔵の音源は鳴らなくなり、SH-101 だけが鳴らせるようになります。詳しくは、SYSTEM-8 リファレンス・マニュアルをご覧ください。

設定	説明
ローカル・コントロール ON	SYSTEM-1 を単体で使用するときを選びます (初期値)。
ローカル・コントロール OFF	SYSTEM-1 を、DAW などと組み合わせて使用するときを選びます。 ※SYSTEM-1 単体では、鍵盤を押しても音は鳴りません。
MIDI コントローラー・モード	SYSTEM-1 を、MIDI コントローラーとして使用するときを選びます。 ※鍵盤を押しても、SYSTEM-1 内蔵の音源は鳴りません。 ※MIDI を受信しても、SYSTEM-1 内蔵の音源は鳴りません。